

ブロックチェーン革命と未来のお金

～新しいマネーシステムが生み出す次なる日本～

2019年12月13日

JWAT WAVE設立記念セミナー

松田政策研究所代表

未来社会プロデューサー…他

元衆議院議員

前東京大学大学院客員教授

松田 学

(まつだ まなぶ)





みらいのおかね

国の借金をお金に変える「松田プラン」。負の遺産を抜本処理して新財源+通貨基盤としての暗号通貨の国家戦略化
 一元財務官僚、金融資産の活用でお金を回し、財政運営の「見える化」で国民の納得
 一人一人の生きがい追求をみんなが支える自由で伸びやかな新たな社会

いのちを守る仕組み

次なる政治のテーマは危機管理…国防 防災・減災革命 サイバー 経済 生活防衛…
 社会の課題解決で新たな日本の成長分野→専門的知見で具体的な答を出す

- サイバーセキュリティ…東京大学で政策提言→社会実装事業のプロジェクトリーダー、
- ブロックチェーン革命…各分野で世界を先導するプラットフォームづくりの旗振り役
透明で公正で健全な仕組みの実践（キャッシュレスサービス振興協会代表理事など）
- 防災「黄金の国シバングプロジェクト」主唱者…AI、IoT、ドローン→IT分野に新領域→国土全VR化

夢を持てる強靱な国づくり

「改革」から「組み立て」へ：国家戦略形成の方法論と国家像

国土強靱化…バサルトファイバー事業で素材革命 バサルト株式会社（社長）
 ⇒びくともしないインフラ、まちづくり、住宅、その他環境調和、耐放射性
 社会システム再設計…日本の全体システムの組み替え⇒持続可能な独立自尊の新しい国づくり
 ※活力ある超高齢社会の運営モデル：課題先進国
 「一人二役三役時代」、「年齢不詳社会」、官と民が支える「公」
 医療・介護地域トータルシステム創出事業・・・地域再生・地方創生

「日本新秩序」⇒「世界新秩序」

「三種の神器」（不老長寿の国、豊草原瑞穂の国、日出国）

新しいタイプの日本のリーダーシップ（アジェンダシェイピング、モデルビルディング、コラボレーション）

⇒具体的な事業で示す日本の未来像+緻密な政策体系+ネットワーク+参加
 ⇒未来実現型のリアルな政治へ、日本の政界に新たな軸を構築

経済成長革命で日本の病を根本治療！

発信 啓発 講演

※メディア出演・執筆
 ※インターネット・動画チャンネル松田政策研究所
 （登録者数、視聴数急増中）



リアルな政策論

※政官学民で培った
 経験とネットワーク



事業活動

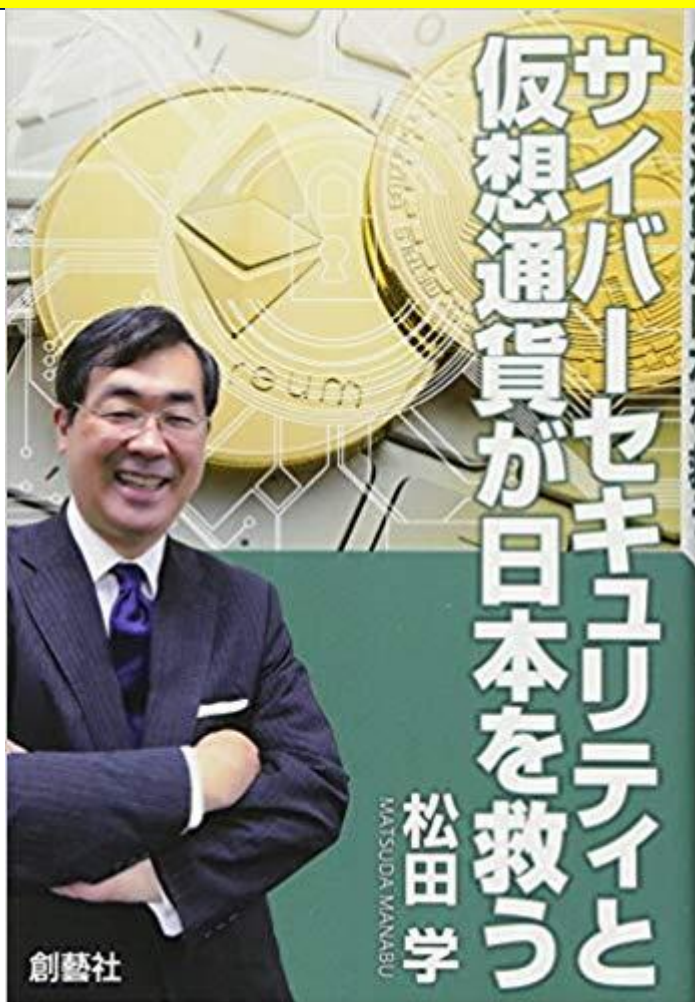
※バサルト、防災、
 ブロックチェーン、
 サイバー等



☆松田学(著)「サイバーセキュリティと仮想通貨が日本を救う」(創藝社)18年8月

☆共著「米中知られざる『仮想通貨』戦争の内幕(宝島社)19年1月25日発刊

☆松田学(著)「いま知っておきたい『みらいお金』の話」(アスコム)19年2月23日



松田学3つの近著・・・コンテンツ

サイバーセキュリティと仮想通貨が日本を救う

【本の構成】

はじめに

第1章 人類に訪れる「第四の波」

第2章 海外で見た情報化社会、海外で聞いたサイバーセキュリティ

第3章 どうなっているのか、日本のサイバーセキュリティ

第4章 サイバーセキュリティ完成への道筋

第5章 新たなセキュリティシステムへのチャレンジ～ジュピタープロジェクト～

第6章 仮想通貨の行方～真の通貨への模索～

第7章 ネクストソサイエティと新たな通貨の論理

第8章 日本の財政はこうして救われる「松田プラン」

おわりに～未来社会に向けて「日本新秩序」を～

☆基礎編・・・情報セキュリティと仮想通貨
→情報技術が拓く未来社会の展望と
政府暗号通貨「松田プラン」

米中知られざる『仮想通貨』戦争の内幕

第1章 ドイツ銀行がトリガーか
リスクにさらされる世界経済

第2章 突出する中国と世界の
暗号資産最前線

第3章 日本の暗号通貨と
サイバーセキュリティ

第4章 暗号通貨が作る
「協働型コモンズ」社会

第5章 鼎談 最新暗号通貨が
日本を救う

☆応用編・・・現実の世界で何が
起こっているのか。

ブロックチェーン革命の推進と、

①政府暗号通貨、

②「東京クリプト金融特区」、

③クリプトキャッシュ、

・・・3つの融合スキームで政策提言

いま知っておきたい『みらいお金』の話

1時間目 「みらいのお金」は
自由へのパスポート

2時間目 仮想通貨ってそもそも何？

3時間目 日本は「キャッシュレス
後進国」で「仮想通貨天国」？

4時間目 「みらいのお金」も「昔のお金」
も約束と信用でできている

5時間目 「みらいのお金」で誰でも
作れる「小さな経済」

6時間目 仮想通貨を使ってみよう

7時間目 お金はマルチメディア化する
おわりに

☆普及・啓発編

・・・未来社会プロデューサーの松田学が
広くプロモーション活動を展開

スマートコントラクトとトークンエコノミー

ブロックチェーン
本質
↓
3つの機能を
1つの仕組みで
実現するもの

①情報管理

改ざん不可能、真正性の証明不要…等々

②手続き

スマートコントラクト
…ブロックチェーンを支える新たなコア技術
⇒技術革新の中核

③価値の移転

暗号通貨…トークン…システムのユーザー

社会実装上、
最大のメリット

データと特定のロジックが結合することで、そのロジックに従ったデータ処理
⇒データが主役：データに応じてシステムが動く姿

- (1) 情報管理及び情報の安全性と信頼性
- (2) ユーザ（国民など）の利便性
- (3) 効率性（コストの大幅削減）

従来、実現が現実的に不可能or高い難易度だったことが実現

ユーザ側はトークン（暗号通貨）で利用⇒一連の手続きと価値移転（納税や手数料の支払も）がワンストップ
⇒ 経済活動でも政府や行政との関係でも「トークンエコノミー」が進展

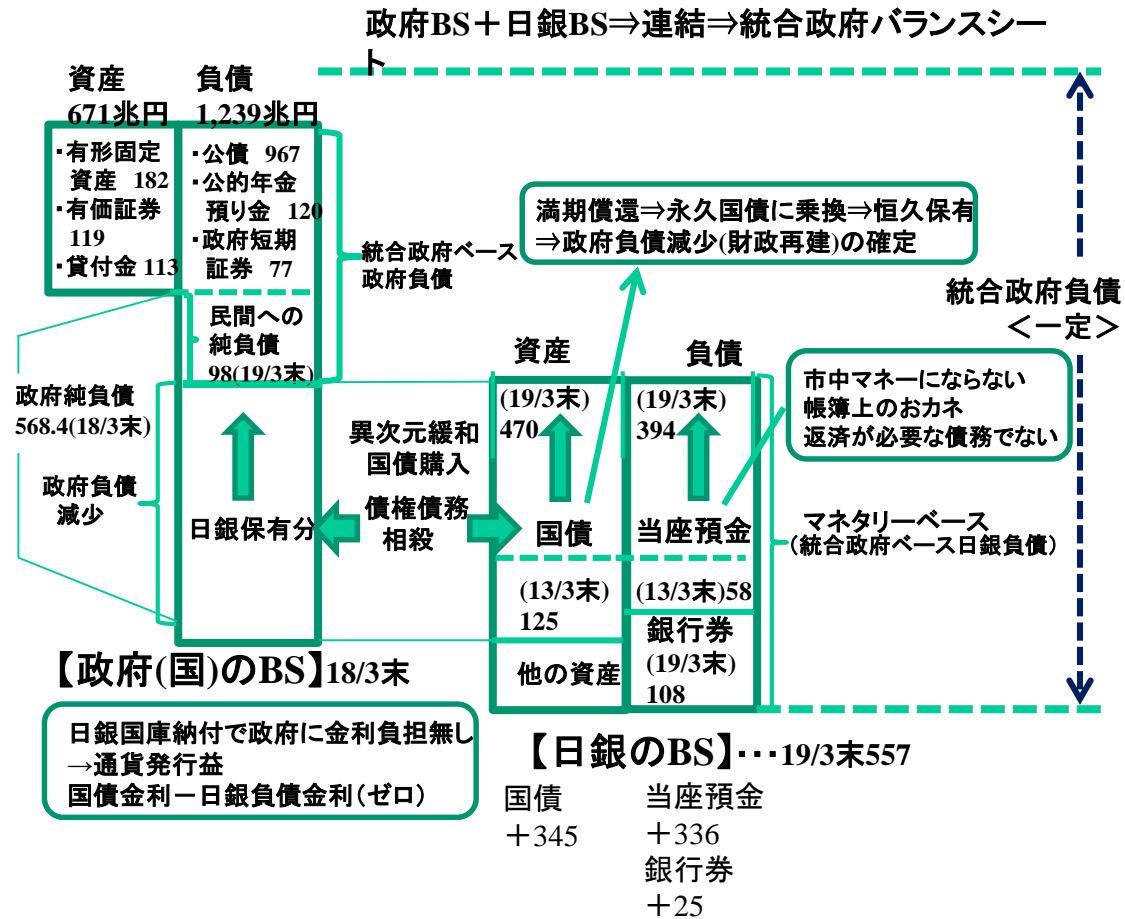
自治体による行政サービスをブロックチェーンとスマートコントラクトで実装
⇒ これを利用するためにトークンを支払うことで効率的な行政サービスの提供と利用
(ユーティリティトークン … 特定のサービスにアクセスすることに使えるトークン)

【通常業務】

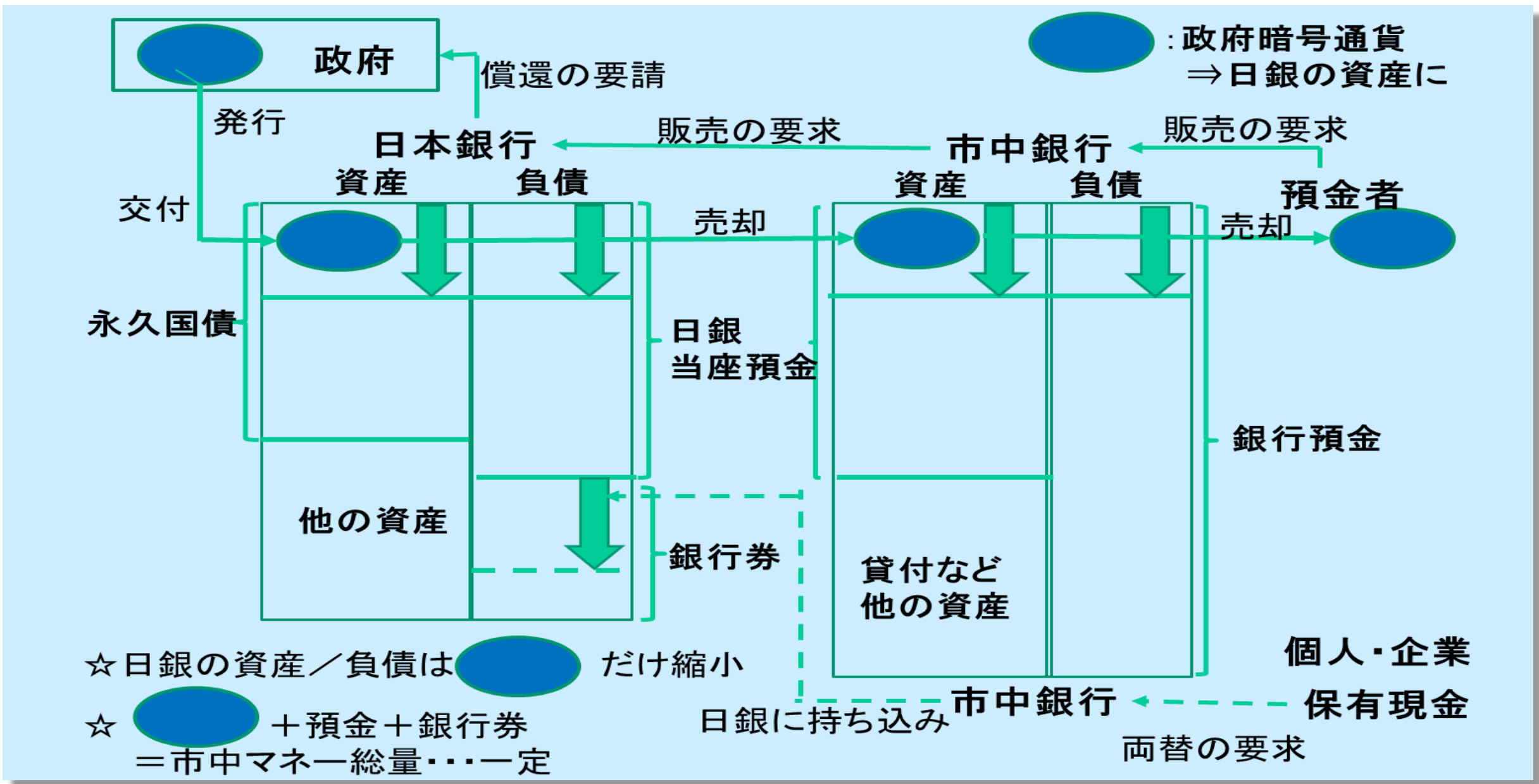
- 文書管理 … 公文書管理、不動産登記、医療・介護データ管理など
- 出生や生存証明、身分証明、マイナンバーなどの個人情報管理
- 電子投票などの実現

【地域活性化】

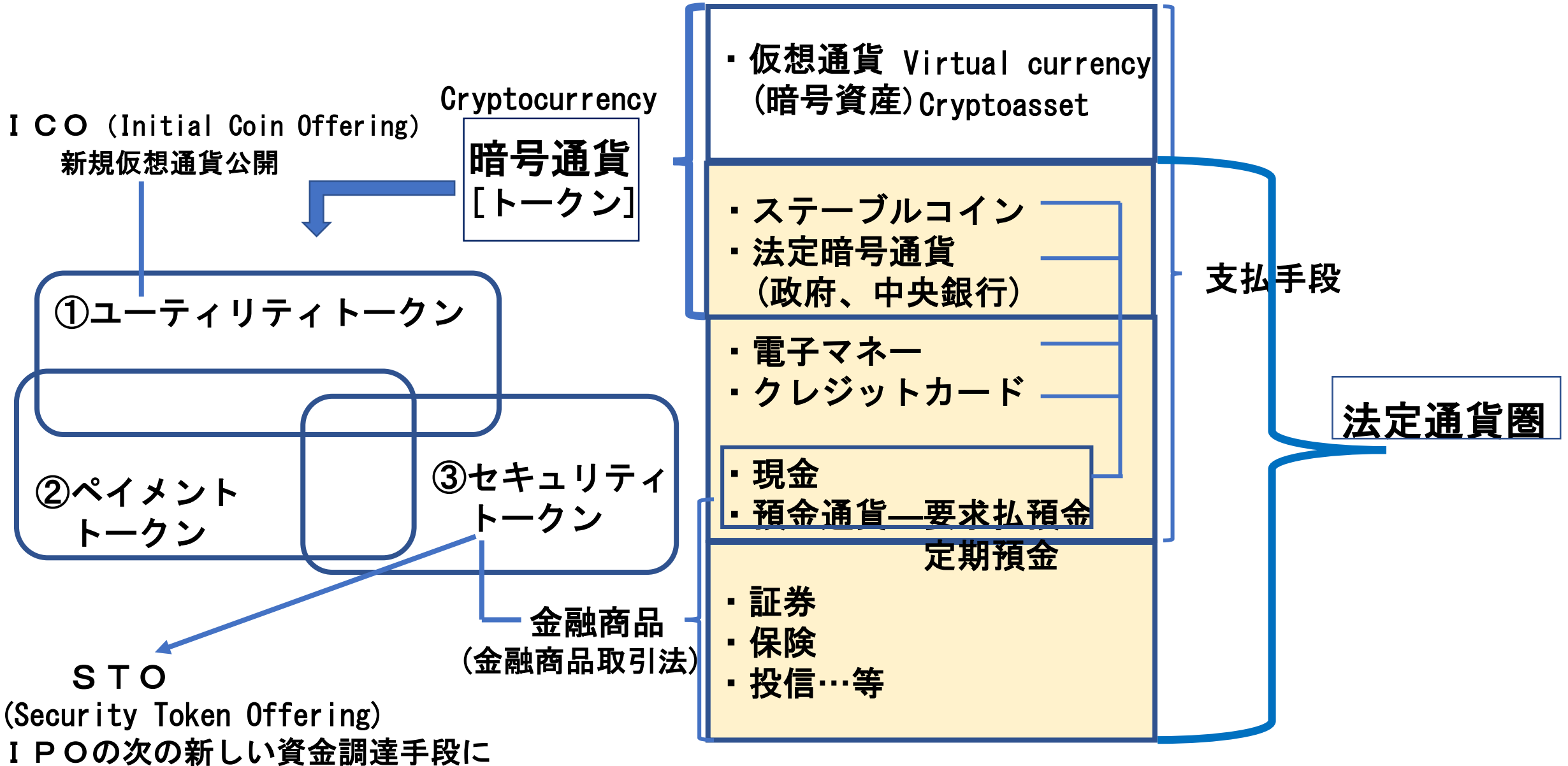
- 道の駅、名所旧跡、観光スポット、お食事処、宿泊施設などの施設
- 特産品などの認証制度や流通販売
- 税金支払い、ふるさと納税（寄付）、その他の各種サービスやイベントなどで使える通貨（コインもしくはトークン）を発行
- 地域活性プロジェクトとして I C O（Initial Coin Offering）で資金調達



松田プラン・・・永久国債オペの出口は政府暗号通貨による償還



通貨の分類 法定通貨と暗号通貨



・ ステーブルコイン及びその他の様々な金融商品

大臣・総裁は、金融セクターにおける技術革新は大きな便益をもたらしうるが、それらはまたリスクも伴うものであることを認識した。リブラのようにグローバルで潜在的にシステムミックな足跡を伴う取組を含め、ステーブルコイン及びその他の現在開発されている様々な金融商品は、深刻な規制上ないしシステムミックな懸念とともに、幅広い政策上の課題を引き起こすことに合意した。これらの懸念や課題はいずれも、こうした取組が実施される前に対処される必要がある。

規制上の懸念に関し、今後実現する可能性のあるステーブルコインのイニシアティブ及びその運用者が、金融システムの安定や消費者保護を脅かすことのないよう、いかなる場合においても、特にマネーロンダリング及びテロ資金供与対策をはじめとする最高水準の金融規制を満たす必要があることに合意した。規制上生じうるギャップについても、対処される必要がある。

システムミックな懸念に関し、リブラのような取組が通貨主権や国際通貨システムの機能にも影響しうることに合意した。

こうした取組が、国境を超える決済システムが顕著に改善され、消費者にとってより安価になる必要があることを示していることでも合意した。

日本のポジション

自由競争(米国)

VS

国家主導(中国)

GAFA

Google(グーグル)
Apple(アップル)
Facebook(フェイスブック)
Amazon(アマゾン)

FAANG

Netflix(ネットフリックス)

BATIS

「AI発展計画」で
習政権が指名した5大プラットフォーマー

B: 百度(Baidu) 自動運転
A: アリババ(Alibaba) スマートシティ
T: テンセント(Tencent) ヘルスケア
I: アイフライテック(iFlytec) 音声認識
S: センスタイム(Sense Time) 顔認識



ブロックチェーン革命

課題解決 ← 社会実装の推進

現場力、工学力、産業蓄積...

各社会システム毎に、
それぞれに応じたイノベーション

スマートコントラクト
& トークンエコノ

パブリックなプラットフォーム

さまざまな社会システム

- ・医療・介護 → 世界標準へ
- ・登記 → 世界標準へ
- ・物流 → 世界標準へ
- ・エネルギー供給 → 世界標準へ
- ・地方自治 →
- ・金融 →
- ・.....etc

日本新秩序



世界新秩序